

四季の杜新聞

桜をのせて作りました。お茶までに待てない様子でしたが、抹茶を入れて頂くでは我慢我慢。



「お内裏様とお雛様」皆さんの鼻歌が聞こえてきた7年3月3日(月)、ひな祭りを祝いました。今年は「桜餅」を皆さんで作って、お茶の先生である大橋様による「茶会」を行いました。「桜餅」は、ホットプレートで生地を焼き、あんこを包み、



お茶会は、お茶道具一式を大橋様がご自宅から持参され、ご利用者様はもちろん、職員までもふるまっていた頂き、美味しい抹茶を頂きました。作法や茶器(いろいろな種類の物をご用意していただきました)それぞれ

れの意味について説明をして下さり、とても勉強になりました。



様子がした。

ひな祭り



た。一部の女性陣より、お茶に興味があり「自分もやってみたい」「作法を習ってみたい」等とても有意義な時間をすごされた様子でした。

「ひな祭り」は、3月3日に行われ、別名「桃の節句」といわれ、女の子の健やかな成長を願うお祭りとして知られていますが、その起源は中国から伝わった「上巳(じょうし)の節句」という無病息災を願う厄払い行事だったといわれています。

こどもの日

こどもの日は、5月5日に行われ「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」日です。昭和23年(1948年)に制定された国民の祝日です。こどもの日と端午の節句は、同じ日ですが別行事です。



令和7年5月5日(月)、「鯉のぼりフルーツサンドを作ろう!」と題し、このぼりの形にした食パンをベースに、生クリームを絞り、みかんと桃の缶詰を衣に見立て、チョコ

ンで目を作り「鯉」を作りました。いろいろな鯉のぼりもあつという間に口の中に。「ケーキを食べているよう」と好評でした。



2025年度
春号
【No.011】
☆
四季の杜新聞
編集責任者 荒木



株式会社
匠のケア
四季の杜
デイサービス
〒371-0031
前橋市下小出町
1丁目28-19

TEL 027-225-8011
FAX 027-225-8033



匠の技

①

四季の杜デイサービスには「匠」と呼ばれるほどの技術を持った利用者様がいらっしやいます。

そのお一人「西島かおり様」です。本物そっくりのミニチュアのお菓子に周囲の方々から「どうやって作ったの」「すごい」「かわいい」と驚きの声。ご本人にお聞きすると、羊毛フェルトで作っているとのことでした。素晴らしい作品の数々を多くの方々に見ていただきたいの思いから、四季の杜デイサービスの玄関の一角に飾らせていただく事となりました。季節にちなんだ「西島かおり様作品展」は常に開催しています。是非ご覧下さい。



桜の下で小鳥がお花見



こどもの日。こいのぼりと金太郎



西島かおり様



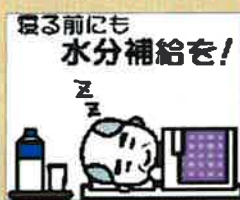
梅雨のひと時 紫陽花とテルテル坊主



これからの季節は「熱中症」に要注意！

暑い季節が到来します。「熱中症」にかかる方が増えてきます。デイサービスでもお迎えに行くと、いつもと様子が違うかなという方に遭遇することが時々あります。高齢になってくると、体の補水力も低下しこまめに水分を摂らなくては保てないというお話もあります。熱中症対策を行い、暑い夏を乗り切りましょう。

- 1、エアコン、扇風機など冷房を利用し適切な室温設定（一般的に25℃から28℃）をする。
- 2、1日あたり、1.2リットル（コップ約6杯分）の水分摂取を目安にこまめに摂取。
1時間ごとにコップ1杯の水分を。塩分も忘れずに適量摂取。
- 3、食事・睡眠をしっかりとる。
- 4、服装は涼しい服装で外出時は防止や日傘を使用。等



※上記「熱中症予防」に関するカットは、総務省消防庁ホームページ広報素材より。

悲喜交々

「あー旨いー」

物価高騰が続ぎ、当事業所の食料費の見直し等検討しなければならぬと思っていた時、ある寡黙な利用者様が入浴後のノンアルコールビールを飲まれた時に「あー旨いー！」と言。この一言を聞いた瞬間、コストは高くなってもこのサービスは残さなければと思った次第です。この一言で「ご利用者様が喜んでいただけるサービスを提供する」という本質は維持しなければならぬと再確認した次第です。「あー旨いー」の一言を聞いて、なんとなくこちらも幸せな気持ちになりました。
(荒木)